

授 業 科 目	義肢学実習Ⅱ（義手）		
教 育 内 容	専門分野	義肢学	
担 当 教 員	丸山貴之、中村喜彦、高橋功次		
学 年	2	単 位 数	2
開 講 時 期	前期・後期	時 間 数	実習 90 時間

### ■ 授業概要

実際の上肢切断者の方々にご協力いただき、前腕能動義手、上腕能動義手、顎上懸垂式ソケット（ノースウェスタン式）、電動義手（筋電制御）の製作実習を行い、基本的技術を習得する。また、上肢切断者の方々との確かつ円滑なコミュニケーションをとることも本科目の課題である。適合レポート発表により製作・適合に対する知識と理解を深め、他学生の経験も共有する。

### ■ 到達目標

- 1) 前腕能動義手、上腕能動義手の採型、製作、適合を理解し実践できる。不適合の原因を理解し、対処できる。
- 2) 生体運動と義手の操作原理を理解する
- 3) 顎上懸垂式ソケットの特徴と製作方法を理解する
- 4) 筋電電動義手の構成を理解し、電極の位置設定を行える
- 5) 上肢切断者の方々と、コミュニケーションを確かつ円滑に行える

### ■ 授業内容

第 1-4 回	前腕能動義手	前腕能動義手の操作および前腕ソケット〔差込み式〕採型法 採型・採寸・ギプスチェック、陽性モデル製作
第 5-7 回		陽性モデル修正
第 8-10 回		ソケット注型、前腕懸垂部製作、リストメタル取付け
第 11-13 回		型出し、外装注型、トリミング、上腕半カフ製作
第 14-15 回		ケーブルシステム製作、仮合せ準備
第 16-19 回		前腕能動義手仮合せ・適合評価法
第 20-21 回		適合レポート発表、前腕能動義手仕上げ
第 22-25 回	上腕能動義手	上腕能動義手の操作および上腕ソケット〔差込み式〕採型法 採型・採寸・ギプスチェック、陽性モデル製作
第 26-28 回		陽性モデル修正、内ソケット成型、懸垂部製作
第 29-31 回		ターンテーブル取付、型出し、外装注型、前腕部陽性モデル修正
第 32-34 回		前腕部注型、割り出し、トリミング、上腕部トリミング、肘ブロック取り付け用穴加工、義手組み立て
第 35-36 回		ケーブルシステム準備、仮合せ準備
第 37-40 回		上腕能動義手仮合せ・適合評価法
第 41-42 回		適合レポート発表
第 43-50 回	顎上懸垂式	ノースウェスタン式ソケット採型・採寸・ギプスチェック 電動義手仮合せ体験

### ■ 評価方法

「適合レポート発表」、「製作レポート」、「製作実習」、「期末試験」での各評価を総合して行う。製作レポート

について、提出期限を守れなかった場合はレポート評価を0点とする。

適合（レポート発表）25%、製作レポート30%、製作実習20%、期末試験25%

■教科書

義肢学第3版、義肢製作マニュアル第2版、義肢装具のチェックポイント第9版、義肢装具ハンドブック  
(参考図書) 切断と義肢

■留意事項・その他

<講師の実務経験>

中村喜彦：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に5年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として17年間勤務。

丸山貴之：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に5年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として17年間勤務。

高橋功次：リハビリテーションセンターおよび義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に40年間従事